

VOX

JamVOX

Jam and Practice Tool for Guitar

エフェクト・ガイド



目 次

A. アンプ・モデル 1

コントロール類について	1
ゲインとボリュームについて	2
Virtual Valve Reactor	2
真空管の話	2
パワー・アンプの精度	3
1. VOX AC15	3
2. VOX AC15TB	3
3. VOX AC30	4
4. VOX AC30TB	4
5. UK BLUES	4
6. UK 68P	4
7. UK '80S	5
8. UK '90S	5
9. UK MODERN	5
10. BLACK 2X12	5
11. TWEED 1X12	6
12. TWEED 4X10	6
13. BOUTIQUE CL	6
14. BOUTIQUE OD	6
15. US MODERN	7
16. US HIGAIN	7

17. UK MODERN2	7
18. BOUTIQUE METAL	7
19. MODDED OD	7

B. キャビネット・モデル 8

キャビネット／スピーカーの精度	8
1. VOX AC15	8
2. VOX AC30	8
3. VOX AD412	8
4. VOX AD120VTX	8
5. UK H30 4X12	8
6. UK T75 4X12	9
7. BLACK 2X10	9
8. BLACK 2X12	9
9. TWEED 1X8	9
10. TWEED 1X12	9
11. TWEED 4X10	9
12. US V30 4X12	9
アンプとキャビネットの組み合わせ例	10
その他の推奨例	11

C. ペダル・エフェクト 12

1. TUBE OD	12
2. SUPER OD	12
3. ORANGE DIST	13
4. METAL DIST	13
5. FAT DIST	14
6. FUZZ	14
7. OCTAFUZZ	14
8. TREBLE BOOST	15
9. BOUTIQUE	15
10. VOLUME	15
11. VOX WAH	16
12. AUTO WAH	17
13. COMP	18
14. ACOUSTIC	19
15. OCTAVE	20
16. BLK/ORG PHASE	21
17. U-VIBE	22
18. RING MODULATOR	23

D. ノイズ・リダクション 24

1. NOISE REDUCTION	24
--------------------------	----

E. モジュレーション・エフェクト 25

1. CLASSIC CHORUS	25
2. MULTI TAP CHORUS	26
3. STEREO CHORUS	27
4. BI CHORUS	28
5. CLASSIC FLANGER	29
6. DUO PHASE	30
7. FILTRON	31
8. PITCH SHIFTER	32
9. TEXTREM	33
10. ROTARY	34
11. MOD DELAY	35
12. TALK MOD	36

F. ディレイ・エフェクト 37

1. STEREO DELAY	37
2. CROSS DELAY	38
3. 2 TAP DELAY	39
4. RHYTHM DELAY	40
5. HOLD DELAY	41
6. REVERSE DELAY	42
7. MOD DELAY	43
8. SWEEP DELAY	44
9. ANALOG DELAY	45
10. MULTI HEAD	46
11. ECHO PLUS	47

G. リバース・エフェクト 48

1. SLAP	48
2. GATE	49
3. SPRING	50
4. BOUNCE	50
5. PLATE	50
6. GARAGE	51
7. CHAMBER	51
8. CANYON	51
9. ROOM	52
10. STUDIO	52
11. HALL	52
12. ARENA	53
13. HD-ROOM	54
14. HD-CHAMBER	55
15. HD-HALL	55

Block Diagram56

A. アンプ・モデル

最初に、素晴らしいサウンドを誇る数々のアンプの中からJamVOXのために特別に選んだ19種類のアンプ・モデルについて説明します。モデルとなるアンプを選択するには、かなりの時間を費やし、スタッフ同士の意見交換、プロ・ミュージシャンやギター専門家のアドバイス、数限りない試聴、試奏を繰り返しました。こうして選んだアンプは皆によく知られた最良なサウンドを生み出すだけではなく、素直なクリーン・サウンドから、とてつもなく歪んだサウンドまで、幅広く網羅します。

コントロール類について

JamVOXのアンプ・モデルには、GAIN、VR GAIN、TREBLE、MIDDLE、BASS、PRESENCE、OUTPUTの各コントロールがあります。しかし、モデルとなったオリジナル・アンプには、必ずしもこれらのコントロール類がすべて搭載されているわけではありません。そこで、オリジナル・アンプに搭載されていないコントロールに、オリジナル・アンプの再現性を損なうことなく、機能を割り当てることによって、オリジナルのアンプの音色を正確に再現するだけでなく、更に自在なコントロールすることを可能にしました。例えば、オリジナル・アンプのEQのコントロールが少ない場合は、オリジナル・アンプに搭載されていないコントロールを、12時の方向にしたときに「ニュートラル」、つまりオリジナルのサウンドに相当させることができます。「ニュートラル」以外にすることによって、自在な音色調整が可能です。以下はトレブル、ミドル、ベース・コントロールのいずれか（または全部）が搭載されていないアンプです。

アンプ	オリジナルのトーン・コントロール
AC15	トップ・カット&ベース・カット・スイッチ
AC15TB	トレブル&ベース
AC30	トップ・カット・コントロールのみ
AC30TB	トレブル、ベース、カット・コントロール
TWEED 1×12	トーン・コントロールのみ

PRESENCEコントロールについても同様です。オリジナルのアンプにPRESENCEコントロールが搭載されていない場合は、JamVOXのPRESENCEコントロールを左いっぱいに回しきると「ニュートラル」の位置になり、オリジナル・アンプのサウンドが再現できます。該当するアンプ・モデルには、BLACK 2×12、TWEED 1×12があります。AC15、AC15TB、AC30、AC30TBでは、トップ・カット・コントロールとして動作します。

ゲインとボリュームについて

JamVOXのアンプ・モデルには、音量(ゲイン)をコントロールするプログラマブルな3つのコントロール(GAIN、VR GAIN、OUTPUT)があり、それぞれが固有な働きをします。どのアンプ・モデルも、これらの設定次第でサウンドが驚くほど変化します。多くのビンテージ・アンプには、ボリューム・コントロールが1つしかありません。最近のアンプには、たいいていゲインとマスター・ボリュームの2種類のコントロールがあります。ゲイン(あるいはプリアンプ・ボリューム)はプリアンプ部の入力レベルを調整し、マスター・ボリュームはプリアンプ部からパワー・アンプ部へ送る信号レベルを調整します。上記のようなビンテージ・アンプにはマスター・ボリュームは無く、プリアンプの出力が直接パワー・アンプに送られます。

JamVOXの各コントロールは、以下の働きをします。

GAINコントロール: マスター・ボリュームが搭載されていないAC15、AC15TB、AC30、AC30TB、UK BLUES、UK 68P、BLACK 2×12、TWEED 1×12、TWEED 4×10のようなビンテージ・タイプのモデルでは、オリジナル・アンプのVOLUMEコントロールとして機能します。その他のマスター・ボリューム付きのモダン・アンプでは、GAINまたはPREAMP VOLUMEと同じ機能です。

VR GAINコントロール: マスター・ボリュームとして、プリアンプ部からパワー・アンプ部へ送る信号レベルをコントロールします。

OUTPUTコントロール: アンプ出力とスピーカー・キャビネット入力の間のアッテネーター(減衰器)として機能します。

HINT JamVOXのプリアンプ部とパワー・アンプ部の関係は、オリジナル・アンプの動作と同じように設計しています。

JamVOXでオリジナル・アンプのサウンドを再現するには、VR GAINコントロールを次のように設定してください。

マスター・ボリュームが搭載されていないビンテージ・タイプのモデルの場合は、VR GAINコントロールを最大に上げます。

マスター・ボリュームが搭載されているモダン・タイプのモデルの場合は、マスター・ボリュームの調整と同じようにVR GAINコントロールを調整してください。

VR GAINコントロールのレベルが低いときは、どちらかというとプリアンプ・タイプのディストーションとなり、レベルが高いときはVirtual Valve Reactorの歪みと暖かみが加わります。

Virtual Valve Reactor

バルブ・リアクター技術とは、VOXアンプAD60/120VTではじめて採用された技術です。ToneLabシリーズでは、低いワットテージのチューブ・パワーアンプ回路、OUTPUTトランスをソリッドステート部品でエミュレーションしたバーチャルOUTPUTトランス、スピーカーのインピーダンス変動をシミュレーションしたダミースピーカー回路を搭載しています。Virtual Valve Reactorは、このバルブ・リアクター技術を完全にソフトウェア化し、実際のフル・チューブ・アンプと同じ回路構成をシミュレートしています。

真空管の話

真空管のことをイギリスでは「バルブ」、アメリカでは「チューブ」と呼びます。このように国によって名称は違いますが、JamVOXの19個のアンプ・モデルの心臓にはいずれも、あの真空のガラス管が息づいています。本書では、各アンプの故郷を尊重して、イギリス生まれのアンプは「バルブ」、アメリカ生まれのアンプは「チューブ」と呼んでいます。

HINT ECC83プリアンプ・バルブと12AX7プリアンプ・チューブの違いは?

まったく同じです。ECC83はイギリス名、12AX7(別名7025)はアメリカ名です。

パワー・アンプの精度

すでに述べたように、優れたチューブ・アンプのパワー段での処理が、アンプのサウンド、ドライブ感、動作に大きな影響を与えています。パワー・アンプの動作 (A、AB級)、真空管の種類 (EL84、EL34、6L6、6V6)、負帰還回路特性、パワー段のスピーカーとの応答性 (ダンピング特性)、これらの要素が音色に重要な役割を果たしています。

JamVOXは、Virtual Valve Reactor技術を採用することによって、モデルとなったアンプのフル・チューブ・パワー段の独特の回路特性をシミュレートして、チューブ・アンプに固有の重要な特性を忠実に、そして正確に再現します。例えば、アンプ・モデルのAC30TBを選択すると、JamVOXのVirtual Valve Reactorパワー段はA級、無帰還という設定に切り替わります。

次に各アンプ・モデルについて説明しましょう。

1. VOX AC15

素晴らしいサウンドの1962年製VOX AC15 (1×12", 15W) をモデリングしました。このアンプは「シンプル」の極みで、モデリング対象となったチャンネル2にはVOLUME、BRILLIANCE (実際はベース・カット) とTOP CUTの3つのコントロールしかありません。JamVOXでAC15を選択すると、GAINコントロールがオリジナル・アンプのVOLUMEコントロールの役目を果たします。また、JamVOXのPRESENCEコントロールは、オリジナル・アンプのTOP CUTノブに相当します。AC15のTOP CUTノブが高域成分を調整する動作は、一般のアンプのトレブル・コントロールとはかなり異なります。これをうまく使いこなせば、かの有名なVOXアンプの「きらびやか」なサウンドを忠実に再現できます。BASSコントロールは、オリジナル・アンプの切り替えスイッチに代えて、可変のベース・カット (オリジナルの表記はBrilliance) になっています。TREBLE、MIDDLEコントロールはそれぞれ12時の方向に設定すると「ニュートラル」、つまりオリジナルそのままの音色が得られます。オリジナルのAC15搭載のトップ・カット・ノブは、一般的な動作と逆の動きをするので注意してください。オリジナルのモデルでは右に回すほど「カット」されますが、JamVOXでは、PRESENCEコントロールを右に回すほど「きらびやか」になり、ゼロに近くなるほど「カット」量が大きくなります。

オリジナル・アンプのバルブ構成: EF86×1、ECC83×3、ECC82×1 (プリアンプ内)、EZ81×1 (整流器)、EL84×2 (パワー・アンプ内)

2. VOX AC15TB

1950年代後半に登場したAC15に対し、AC15TBはAC15の低出力パワー・アンプの甘美で理想的な音色特性と、AC30のトップ・ブースト・チャンネルの自由度の高い音色を組み合わせたモダンなアンプです。これに更に甘さを加えるため、セレクション製12インチ“BLUE”スピーカー、リバーブ・コントロール、マスター・ボリュームも搭載しました。

オリジナル・アンプのバルブ構成: ECC83×5 (プリアンプ内)、5Y3GT×1 (整流器)、EL84×2 (パワー・アンプ内)

 オリジナル・モデルのトーン・コントロールは、TREBLEとBASSだけなので、JamVOXのTREBLEコントロールとBASSコントロールでトーンを調整し、MIDDLEコントロール (12時の方向でオリジナルの値) とPRESENCEコントロール (最大でオリジナルの値) を使って、更に自在な音色の調整ができます。「VOXらしさ」を最大限に出すために、PRESENCEコントロールがオリジナルのAC15のTOP CUTノブと同じ機能を持つように設計しました。ただし、AC15のアンプ・モデルと同様、動作はまったく逆で、ゼロに近づくほどカット量も大きくなります。VOXアンプのトレードマークのサウンド通り、このモデルは響きのいいクリーン・トーンとスムーズながらも理想的な倍音の波打つオーバードライブ・サウンドを得ることができます。

3. VOX AC30

1959年製、30W、2×12のAC30です。AC15と同様、AC30のノーマル・チャンネルもVOLUMEノブとTOP CUTノブしかありません（JamVOXでは、GAINコントロールとPRESENCEコントロールで代用）。

オリジナル・アンプのバルブ構成: ECC83×4、ECC82×1（プリアンプ内）、GZ34×1（整流器）、EL84×4（パワー・アンプ内）

 PRESENCEコントロールはオリジナルのAC30のTOP CUTノブと同じ機能を果たしますが、AC15アンプ・モデルと同様、動作はまったく逆で、ゼロに近づくほどカット量も大きくなります。

4. VOX AC30TB

AC30TBのブリリアント・チャンネルには、ECC83バルブ（チューブ）とTREBLEとBASSのコントロールからなる、「トップ・ブースト」回路が増設されており、元から備わっているCUTノブと併せて、TREBLE、BASS、CUTの3つのコントロールが搭載されています。JamVOXでは、PRESENCEコントロールはオリジナル・アンプのCUTノブの機能を果たし（ただし、ゼロに近くなるほどカット量が大きくなります）、GAIN、TREBLE、BASSコントロールは、オリジナル・アンプのVOLUME、TREBLE、BASSのコントロールを再現します。MIDDLEコントロールは12時の方向でオリジナル・サウンドとなります。このアンプ・モデルは、ギター・プレーヤーの必須アイテムにしたA級アンプの音色と同等の、スムーズかつ繊細なトップ・エンドをもつ豊かで華やかなクリーン・サウンドと威厳のある野太いオーバードライブ・サウンドを生み出します。

オリジナル・アンプのバルブ構成: ECC83×5、ECC82×1（プリアンプ内）、GZ34×1（整流器）、EL84×4（パワー・アンプ内）

5. UK BLUES

1960年代初期、古き良きイングランドで作られた、非常に珍しいハンド・ワイヤリングによるアンプ・ヘッドのハイ・トレブル・チャンネルをモデリングしました。このアンプはTWEED 4×10の回路を元に設計されましたが、異なるタイプの真空管やトランスを使用し、クローズド・キャビネットに、出力インピーダンスの高い、まったく異なるタイプのスピーカーを採用するなど、基本要素でいくつかの変更を加えたため、ユニークな音色になっています。

オリジナル・アンプのバルブ構成: ECC83×3（プリアンプ内）、GZ34×1（整流器）、KT66×2（パワー・アンプ内）

6. UK 68P

1968年、UK製50W、プレキシガラスのフロント、4つのインプットを持つアンプ・ヘッドのハイ・トレブル・チャンネルをモデリングしました。オリジナル・アンプにはマスター・ボリュームはなく、最善の、あるいは唯一のセットアップ方法はボリュームを目いっぱい上げて音をビリつかせることでした。オリジナル・アンプと同じレスポンスを得るにはVR GAINコントロールを最大に上げてください。そうすれば、JamVOXでオリジナル・アンプと同様のサウンドが得られます。GAINコントロールを目いっぱい上げると、演奏のダイナミクスのわずかな変化にも優美に応答する最高のオーバードライブが即座に体験できます。また、ギター側のボリュームを下げると、ユニークできわめて使いやすいクリーンなサウンドが得られます。

オリジナル・アンプのバルブ構成: ECC83×3（プリアンプ内）、EL34×2（パワー・アンプ内）

7. UK '80S

1983年、UK製100Wマスター・ボリューム付きフルチューブ・アンプ・ヘッドのシングル・チャンネルをモデリングしました。アンプの音量をいっぱいにも上げなくてもクランチ・トーンが得られ、GAINコントロールをフルアップにすると、うなるような太いサウンドが得られます。オリジナルのアンプは、独特のハードなクランチ・サウンドで有名になりましたが、そのサウンド一辺倒ではなく、JamVOXのモデルもギターのリズムを絞ると、ロックのコード・ワークに最適な、どんなミックスでも音がよく通るブライトでクリーンなサウンドが得られます。

オリジナル・アンプのバルブ構成: ECC83×3 (プリアンプ内)、EL34×4 (パワー・アンプ内)

8. UK '90S

100Wデュアル・チャンネル・ヘッドのリード・チャンネルをモデリングしました。プリアンプ段でかなりの歪みが得られます。このアンプはUK'80Sに代わるもので、ゲイン、機能、自由度を要求するロック・ギタリストに応じて開発され、すぐに「業界の標準」になりました。

オリジナル・アンプのバルブ構成: ECC83×3 (プリアンプ内)、5881×4 (パワー・アンプ内)

9. UK MODERN

UK'80SとUK'90Sを融合させた100Wモダン・アンプのハイゲイン・チャンネルをモデリングしました。UK'90Sのハイゲイン・プリアンプ段による心地よいモダンなサウンドと、UK'80Sのパワー段によるパンチの効いたファットでヘビーなサウンドを組み合わせています。

オリジナル・アンプのバルブ構成: ECC83×4 (プリアンプ内)、EL34×4 (パワー・アンプ内)

10. BLACK 2X12

フロント・ブラックフェイスのデュアル・チャンネル、2×12コンボをモデリングしました。深みのあるピアノ風ベース音を含んだタイトなクリーン・サウンドです。ボリュームをいっばいに上げると低域が「しゃがれた」サウンドになります。このクラシックなBLACK 2×12オーバードライブを再現するには、JamVOXのGAINコントロールとVR GAINコントロールをフルアップ、BASSコントロールは完全に絞り、MIDDLEコントロールはフルアップ、TREBLEコントロールは好みの位置に設定してください。オリジナル・アンプのEQコントロールがプリアンプのゲイン・セクションの前に位置しているので、このように中域を上げることで、中域内の歪みが強調され、その結果、愛すべき、歌うようなブルース・トーンが生まれます。オリジナル・アンプにはプレゼンス・ノブはなくブライト・スイッチが搭載されています。JamVOXでは、PRESENCEコントロールがブライト・スイッチの役目を果たします。

オリジナル・アンプのチューブ構成: 12AX7×2、7025×2、12AT7 (別名ECC81)×2 (プリアンプ内)、6L6×4 (パワー・アンプ内)

HINT ペダル・エフェクトのACOUSTICと組み合わせるとベストです。

11. TWEED 1X12

ツイード地の18W、1×12のシンプルなチューブ・コンボです。ボリューム・ノブの他にはトーン・ノブが一つあるだけで、これでトレブルのカット/ブーストを調整しました。

JamVOXのTREBLE、MIDDLE、BASSコントロールを使用して、次の要領でオリジナル・アンプのトーンを再現します。

オリジナル・アンプのトーン・ノブを絞った状態を再現するときは、BASSコントロールをいっぱいに上げ、TREBLEコントロールとMIDDLEコントロールを9時の方向に設定します。(PRESENCEコントロールを0に設定)

オリジナル・アンプのトーン・ノブをいっぱいに上げた状態を再現するときは、TREBLEコントロールを上げ、MIDDLEコントロールとBASSコントロールを9時の方向に設定します。(PRESENCEコントロールを0に設定)

オリジナル・アンプには、プレゼンス・ノブが搭載されていません。JamVOXのPRESENCEコントロールが0のときにオリジナル・アンプのサウンドが再現されますが、好みによってPRESENCEコントロールを上げると、サウンドにきらめきが加わります。

オリジナル・アンプのチューブ構成: 12AY7×1、12AX7×1 (プリアンプ内)、5Y3GT×1 (整流器)、6V6×2 (パワー・アンプ内)

12. TWEED 4X10

ツイード地の4×10コンボ・アンプをモデリングしました。ピッキングの強弱やギターのボリュームに敏感に反応します。アンプをいっぱい(にドライブしているときにギター・ボリュームを落とすと、クリーンで豊かなサウンドが得られます。また、ピッキングの強弱によっては、一つ一つの音やコードのクリーン度や歪みの程度を調節することができます。もう一つの音色特性としては、アンプをハードにドライブしたときに整流器GZ34が音に加える、クラシックなチューブ・アンプの「スポンジ感のある」サウンドです。GAINコントロールとVR GAINコントロールをフルアップしハードにピッキングすると、出音が最初のアタックからポワーンと弛むのが次第にわかってくるはずです。

オリジナル・アンプのチューブ構成: 12AY7×1、12AX7×2 (プリアンプ内)、GZ34×1 (整流器)、5881s×2 (パワー・アンプ内)

13. BOUTIQUE CL

完全受注生産でハンド・メイドされる高級アンプのクリーン・チャンネルをモデリングしました。丸みのある美しい低域、立ち上がりの早いミッド・レンジのアタック、甘美なトレブル音は、シングル・コイル・ピックアップに最適です。また、ピッキング・スタイルやピック・アップの選択に対する反応も早く、コードを弾いたときのサウンドはしびれるように優雅で華やかです。

オリジナル・アンプのチューブ構成: 12AX7×3 (プリアンプ内)、6L6×4 (パワー・アンプ内)

14. BOUTIQUE OD

BOUTIQUE CLと同じメーカーの、非常に珍しく非常に高価で評判の高い100Wヘッド、オーバードライブ・スペシャルのオーバードライブ・チャンネルをモデリングしました。完全受注生産でハンド・メイドされるこのアンプは、サックスのようなレガート・ソロに最適です。GAINコントロールを上げたときの素晴らしいサステーンはスムーズでソウルフルです。

オリジナル・アンプのチューブ構成: 12AX7×3 (プリアンプ内)、EL34×4 (パワー・アンプ内)

15. US MODERN

カリフォルニア産、100Wヘッドのモダン・ハイゲイン・チャンネルをモデリングしました。暗くて奥底の知れないローエンド、きらめく高域、怪獣のようなゲインは、メタル・アクトに最適です。GAINコントロールを低くすると、空間を広げる豊かな高域倍音によって、強調された明るくクリーンなサウンドが得られます。

オリジナル・アンプのチューブ構成: 12AX7×5 (プリアンプ内)、5U4G×2 (整流器)、6L6×4 (パワー・アンプ内)

16. US HIGAIN

1991年製、蛇皮でカバーされた100Wアンプ・ヘッドのオーバードライブ・チャンネルをモデリングしました。オープンなローエンドと圧縮した中/高域を組み合わせた、パワフルでヘビーなサウンドです。どんな極端なゲイン設定でも芯の通った迫力のあるトーンになります。

オリジナル・アンプのチューブ構成: 12AX7×4 (プリアンプ内)、6L6×4 (パワー・アンプ内)

17. UK MODERN2

このモデルは、UK製の100Wヘッドを基に、驚くべきトーンとスラッシュなリズム、そしてシルクハット好きで知られる著名ギタリストのために作られました。このオール・チューブ・アンプはフット・スイッチによる切り替え可能な“Lead Master”コントロールにより、実質的に2チャンネル・アンプ的に機能します。このアンプには更にゲイン・コントロールにプッシュ/プル機能を持ち、これを引く(プル)とアンプのリズム・トーンにエッジのあるディストーションを付加します。もし貴方に極上のメタル・トーンの欲求があるなら、このアンプは最高のチョイスとなります。

オリジナル・アンプのチューブ構成: 12AX7×3 (プリアンプ内)、EL34×4 (パワー・アンプ内)

18. BOUTIQUE METAL

100Wのドイツ製4チャンネル・アンプ・ヘッドより放出される破壊的なハイゲイン・サウンドをモデリングしました。このヘッドは4つの独立したプリアンプを搭載し、各々に独立したEQとゲイン/ボリューム・コントロールがあります。JamVOXでは、ドロップD・メタル・チューニングでプレイしたときに驚くべきタイトさをもたらす“Heavy”チャンネルをモデリングしました。

オリジナル・アンプのチューブ構成: 12AX7×7 (プリアンプ内)、6L6×4 (パワー・アンプ内)

19. MODDED OD

北ハリウッドで製作された100Wのプティック・アンプ・ヘッドのモデリングです。このアンプ・ヘッドは、パワー管にEL34、または6L6を使用する2つのバージョンがありますが、JamVOXでは、6L6バージョンのチャンネル2を採用しました。このアンプでは、パワー管のクラスABとクラスAモードの切り替えが可能で、JamVOXが採用したクラスABモードではリッチな倍音と音楽的レスポンスが得られます。

オリジナル・アンプのチューブ構成: 12AX7×6 (プリアンプ内)、6L6GC×4 (パワー・アンプ内)

B. キャビネット・モデル

キャビネット／スピーカーの精度

キャビネット・モデルも、アンプ・モデルに匹敵する精度で、オリジナルのスピーカー・キャビネットを調べ上げ、緻密な、そして忠実な再現を可能にします。ご存知のように、実際の真空管アンプの出力は、それが駆動するスピーカーのさまざまなインピーダンス曲線に深く関係しています。暖かみのあるサウンド、パンチの効いたサウンド、あるいは心地よいサウンドが得られるかどうかは、このことに大きく依存します。スピーカー・キャビネットの設計というのは、単に周波数特性を考えるだけでなく、トランジェント・レスポンス（音程変化に対するスピーカーの追従性）、アンプ出力に対するスピーカーのインピーダンス曲線などの相互関係を設計することなのです。さらに、キャビネット設計ではエンクロージャー（キャビネット）の実際のサイズ、その材質や厚さ、オープン・タイプかセミオープン・タイプなのか、クローズドバックなのかなど、十分考慮しなければなりません。これらの要素をJamVOXはモデリング技術によって解決したのです。

では、JamVOX のために特別に選び、モデリングした各キャビネット・モデルについて説明します。

1. VOX AC15

オープンバック・コンボのキャビネットです。英国セレクション製の12インチ「VOXブルー・アルニコ・スピーカー」を1発搭載しています。

2. VOX AC30

偉大なるVOXサウンドは、2発の12インチVOXブルー・アルニコ・スピーカーを16Ω用にシリアル接続した、このスピーカー・キャビネットによって完成されています。

3. VOX AD412

このスピーカー・キャビネットは最近のVOX 製品の一つです。疑いなく良い音を出すキャビネットなので採用しました。ネオジウム・マグネットを採用したカスタム・デザインのセレクション製スピーカーを使用し、特殊な音響設計技術を採用した4×12 キャビネットです。どのアンプ・モデルとも組み合わせて使用できますが、アンプ・ヘッドのモデルと特に合います。

4. VOX AD120VTX

ネオジウム・マグネットを採用したカスタム・デザインのセレクション製スピーカー2発を搭載したクローズドバック・キャビネットVTXです。

5. UK H30 4X12

UK T75 4×12と同じメーカー製、60年代後期の30Wスピーカーを搭載したヘビー・デューティなキャビネットです。

6. UK T75 4X12

よりモダンな、75W 英国製スピーカーを搭載した4×12キャビネットです。

7. BLACK 2X10

35W オープンバック・コンボのキャビネットです。10 インチのセラミック・マグネット・スピーカーを2 発搭載しています。

8. BLACK 2X12

12 インチのセラミック・マグネット・スピーカーを2 発搭載し、パラレル接続でトータル4Ωのインピーダンスになっています。

9. TWEED 1X8

6V6 出力管を使用したシンプルなアンプのオープンバック・キャビネットです。8 インチ、3.2Ω のアルニコ・マグネット・スピーカーを搭載しています。

10. TWEED 1X12

Tweed 1×12 アンプの音色に大きく影響しているキャビネットです。スピーカーは、アルニコ・マグネットです。

11. TWEED 4X10

オープンバックのキャビネットです。10インチ、8Ω のスピーカーを4 発搭載し、パラレル接続で2Ωのインピーダンスになっています。

12. US V30 4X12

「黒い野獣」とでも呼ぶべきこのキャビネットは、英国製の「Vintage」と名づけられたスピーカーを採用し、深い低域と輪郭のある高域で知られています。

アンプとキャビネットの組み合わせ例

基本的にはアンプ・モデルとキャビネット・モデルを自由に組み合わせて多様なサウンドを作ることができますが、ここでは、推奨する組み合わせを紹介します。

これらの組み合わせは、エフェクト・ルーティング上のアンプ/キャビネット名をクリックして表示されるアンプ/キャビネット・コンビネーション・カタログで選択することができます。

コンビネーション	アンプ・モデル	組み合わせキャビネット・モデル
VOX AC15	VOX AC15	VOX AC15
VOX AC15TB	VOX AC15TB	VOX AC15
VOX AC15TWIN	VOX AC15	VOX AC30
VOX AC30	VOX AC30	VOX AC30
VOX AC30TB	VOX AC30TB	VOX AC30
UK BLUES	UK BLUES	UK H30 4×12
UK 68P	UK 68P	UK H30 4×12
UK'80S	UK'80S	UK T75 4×12
UK'90S	UK'90S	UK T75 4×12
UK MODERN	UK MODERN	UK T75 4×12
BLACK 2×12	BLACK 2×12	BLACK 2×12
TWEED 1×12	TWEED 1×12	TWEED 1×12
TWEED 4×10	TWEED 4×10	TWEED 4×10
BOUTIQUE CL	BOUTIQUE CL	UK H30 4×12
BOUTIQUE OD	BOUTIQUE OD	UK H30 4×12
US MODERN	US MODERN	US V30 4×12
US HIGAIN	US HIGAIN	US V30 4×12
UK MODERN2	UK MODERN2	UK T75 4×12
BOUTIQUE METAL	BOUTIQUE METAL	UK H30 4×12
MODDED OD	MODDED OD	VOX AC30

その他の推奨例

モデルとしてとりあげたオリジナル・アンプを出しているいくつかのメーカーには、異なるスピーカー構成で、同様なアンプを搭載した製品があります。ここでは、それらのアンプに近づけるための組み合わせ例を紹介します。

アンプ・モデル	キャビネット・モデル	同等モデル
BLACK 2×12	BLACK 2×10	Blackface Vibrolux タイプ・コンボ
BLACK 2×12	TWEED 4×10	Blackface Super タイプ・コンボ
TWEED 1×12	BLACK 2×10	Tweed Super
UK BLUES	VOX AC30	初期のBluesBreakerタイプ・コンボ

これらの組み合わせは、定格出力、出力トランス、スピーカー・メーカーとタイプなどがオリジナルの製品のものとは違うために、あくまでも近似であるということに注意してください。JamVOXは、アンプとキャビネットの組み合わせやセッティングなどを、簡単に切り替えることができます。

 使い方によっては スピーカーを破損する場合がありますので十分に注意してください。

簡単に様々な組み合わせができるので、本当に気に入ったサウンドを得るには自分でいろいろな組み合わせを試し、判断するしかありません。良い結果も悪い結果もあるでしょうが、アンプとキャビネットの組み合わせに決まりはないので、自由な発想で、気に入ったサウンドを手に入れてください。

NOTE 製品名はすべて該当所有者の商標であり、VOX 社との関わりはいっさいありません。なお、製品名及び説明内容は、本機開発中に調査対象となった製品、あるいは合成可能なサウンド・モデルを説明するためにのみ使用しています。

C. ペダル・エフェクト

歪み系、モジュレーション、リング・モジュレーターなど、さまざまな種類のペダル・エフェクトです。18種類の中から1つを選び設定します。

🔌 が付いたパラメーターは、JamVOX モニターに接続したオプションのコルグEXP-2フット・コントローラーでコントロールが可能です。

フット・コントローラーへのパラメーターのアサインの方法は、JamVOX 取扱説明書の「オプション・ペダル/スイッチの設定」(※p.32)を参照してください。

1. TUBE OD

ケバケバしい、趣味の悪い緑色のボックスに入ったオーバードライブ・ペダルのモデリングです。そのサウンドの温かみが何とも言えず素晴らしいため、伝統のあるクラシックなエフェクト・ペダルとなっています。



DRIVE 📏

歪み(ブースト)の量を調整します。

[1.0...10.0]

LEVEL 📏

出力レベルを調整します。

[0.0...10.0]

TONE 📏

音色を調整します。

[1.0...10.0]

2. SUPER OD

黄色の日本製オーバードライブ・ペダルのモデリングです。ブースターとして好んで使用されます。

パラメーターの内容は、TUBE ODと同じです。(※「1.TUBE OD」)



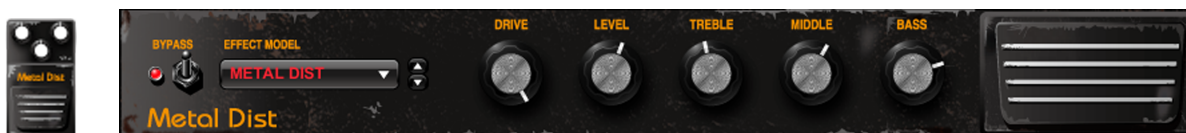
3. ORANGE DIST

クラシックなオレンジ色の日本製ディストーション・ペダルのモデリングです。
パラメーターの内容は、TUBE ODと同じです。(※p.12「1.TUBE OD」)



4. METAL DIST

メタルに最適なディストーション・ペダルのモデリングです。



DRIVE

歪み(ブースト)の量を調整します。

[1.0...10.0]

LEVEL

出力レベルを調整します。

[0.0...10.0]

TREBLE

高音域の音量を調整します。

[0.0...10.0]

MIDDLE

中音域の音量を調整します。

[0.0...10.0]

BASS

低音域の音量を調整します。

[0.0...10.0]

5. FAT DIST

この世で最も嫌われているネズミを名称に持つペダルのモデリングです。倍音豊かでスムーズなディストーションが得られます。パラメーターの内容は、TUBE ODと同じです。(※p.12「1.TUBE OD」)



6. FUZZ

ファズ・ペダルのモデリングです。レトロっぽく、あつかましくて荒削り、そんなイメージを作ります。パラメーターの内容は、TUBE ODと同じです。(※p.12「1.TUBE OD」)



7. OCTAFUZZ

1オクターブ上の音程を付加する伝説のファズ・ペダルのモデリングです。良い効果を得るには必ずフロント・ピックアップを使用してください。パラメーターの内容は、TUBE ODと同じです。(※p.12「1.TUBE OD」)



8. TREBLE BOOST

VOX AC30を使うことを想定してデザインされたVOX VBM-1ギター・アンプに内蔵されているトレブル・ブースターのモデリングです。オーバードライブ・サウンドに「クランチ感」を加えます。パラメーターの内容は、TUBE ODと同じです。(※p.12「1.TUBE OD」)



9. BOUTIQUE

ギリシャ神話に登場する半人半馬の名前を持つオーバードライブ・ペダルのモデリングです。ゲインを下げる则ギターの原音を損なわないブースターとして、ゲインを上げると豊かなミッド・レンジを持つオーバードライブとして使用できます。トーンは12時が標準ですが、積極的に調整してください。パラメーターの内容は、TUBE ODと同じです。(※p.12「1.TUBE OD」)



10. VOLUME

VOX V850 ボリューム・ペダルのモデリングです。



LEL 

音量レベルを調整します。

[0.0...10.0]

11. VOX WAH

伝説のVOXワウ・ペダルV847、V848 Clyde McCoyモデルのモデリングです。喉からしぼり出すような独特のトーンにより、多くのプロ・ミュージシャンの人気の的となったペダルです。うまく使い分ければ、すすり泣くギター・サウンドから何かに取り憑かれた男の遠吠えまで、自在なサウンドが楽しめます。“CLOSE”でワウを閉じたとき、“OPEN”でワウを開いたときの音色を調整できるので、更に幅の広い音作りができます。



CLOSE

[1.0...10.0]

ワウを閉じた状態での音色を調整します。

OPEN

[1.0...10.0]

ワウを開いた状態での音色を調整します。

MANUAL

[1.0...10.0]

ワウの開き具合を調整します。

TYPE

[V847, V848]

ワウのモデルを選択します。

V847: V847

V848: V848 Clyde McCoyモデル

NOTE ペダル・エフェクトにVOX WAHを選択すると、JamVOXモニターに接続したオプションのコルグEXP-2フット・コントローラーには自動的に“MANUAL”がアサインされます。

12. AUTO WAH

ピッキングの強さに追従して自動的に効果のかかるオート・ワウのモデリングです。VOX WAHと同様にV847またはV848が選択できます。



SENS

[0.0...10.0]

ギターの音量に対する動作感度を調整します。

POLARITY

[UP, DOWN]

動作方向を調整します。

ATTACK

[1.0...10.0]

反応の速さを調整します。

TYPE

[V847, V848]

ワウのモデルを選択します。

V847: V847

V848: V848 Clyde McCoyモデル

13. COMP

パーカッシブなクリーン・サウンドで人気の高いコンプレッサーのモデリングです。粒のそろった、スムーズでクリーンなフレーズを弾きたいときや、リードギターにほんのわずかなサスティーンをかけたいときなどに最適です。80年代、90年代のポップやファンクのリズムにもピッタリです。また、歌うようなメロウなサスティーンも得られます。



SENS

感度を調整します。値を大きくするほどコンプレッションとサスティーンが増加します。

[1.0...10.0]

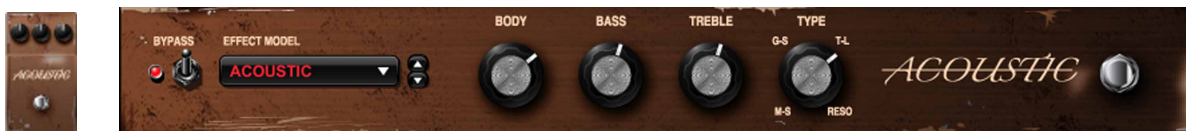
LEVEL

出力レベルを調整します。

[0.0...10.0]

14. ACOUSTIC

エレキ・ギターの音色を、アコースティック・ギターの音色に変換するシミュレーターのモデリングです。アコースティックなサウンドを弾きたいときに最適です。シングル・コイル・ピックアップ (または低出力のピックアップ) を搭載したギターのフロント側で演奏することをおすすめします。



BODY

[0.0...10.0]

“TYPE” で選択したボディの共振を調整します。

BASS

[1.0...10.0]

低域の音色を調整します。

TREBLE

[1.0...10.0]

高域の音色を調整します。

TYPE

[1...4]

ボディのタイプを選択します。

- 1: M-SMALL。繊細なアルペジオなどに適したオールドの小型ボディ。
- 2: G-SMALL。カントリー・ブルースマンなどが愛用した中域に特徴のある小型ボディ。
- 3: T-LARGE。ポップス向けの洗練された音が特徴の大型ボディ。
- 4: RESO。スライド奏法に適したレゾネーター・ギターのボディ。

15. OCTAVE

1 オクターブ、2 オクターブ低い音を作り出し、原音に混ぜ合わせることによって音に重圧感が得られるペダルのモデリングです。



DIRECT

原音のミックス量を調整します。

[0.0...10.0]

1 OCTAVE

1 オクターブ低い音のミックス量を調整します。

[0.0...10.0]

2 OCTAVE

2 オクターブ低い音のミックス量を調整します。

[0.0...10.0]

 オクターブ・エフェクトは、あくまで単音に対してのみ効果的です。コードを弾いてしまうと収拾がつかなくなります。

16. BLK/ORG PHASE

デンマーク製の広いレンジを持つ黒いボックスに入った4段フェイザー、バナナ色のボックスに入った人気の高い4段フェイザー、同じくバナナ色のマイルドな効果をもつ10段フェイザーのモデリングです。これらの3種類のフェイザーから1つを選択します。



SPEED

[0.100...10.00 Hz]

モジュレーション・スピードを調整します。

DEPTH

[0.0...10.0]

モジュレーションの深さを調整します。

RESONANCE

[0.0...10.0]

レゾナンスの量を調整します。

MANUAL

[1.0...10.0]

スイープの中心周波数を調整します。“DEPTH”を10.0にすると、このパラメーターは無効になります。

TYPE

[BLK, ORG1, ORG2]

フェイザーのモデル・タイプを選択します。

BLK: デンマーク製、広いレンジをもつ4段フェイザー。

ORG1: バナナ色のボックスに入った人気の高い4段フェイザー。

ORG2: 同じくバナナ色の上品な効果をもつ10段フェイザー。

17. U-VIBE

かの有名なペダル付きのフェイズ/ビブラートのモデリングです。このエフェクトは回転スピーカーをシミュレートし、とても誘惑的で情感のあるトーンを作り出します。このペダルを作り出した人は、実はVOXのValve Reactor技術を生み出した人でもあるのです。



SPEED

ビブラートのスピードを調整します。

[1.00...10.00 Hz]

DEPTH

ビブラートの深さを調整します。

[0.0...10.0]

MIX

エフェクト音のミックス量を調整します。

[0.0...10.0]

NOTE JamVOXモニターに接続したオプションのコルグEXP-2フット・コントローラーに“SPEED”をアサインすると、ペダル付きのフェイズ/ビブラートと同様に、フット・コントローラーでビブラートのスピードをコントロールすることができます (☞JamVOX取扱説明書 p.32「オプション・ペダル/スイッチの設定」)。

18. RING MODULATOR

リング・モジュレーターのモデリングです。オシレーター（発振器）でサイン波を発生させ、ギターサウンドに掛け合わせると、元々のギター音の周波数に加えてサイン波の周波数だけ高い音と、低い音が発生し、予想もつかない音程になります。エフェクト音の出力にはフィルターを内蔵しているので、低い周波数成分だけを取り出すこともできます。これによって、ギターでは発生不可能な低音を生み出すことも可能です。



DIRECT

原音のミックス量を調整します。

[0.0...10.0]

EFFECT

エフェクト音量を調整します。

[0.0...10.0]

FILTER

フィルターのカットオフ周波数を調整します。

[1.0...10.0]

MANUAL

オシレーターの発振周波数を調整します。

[0.0...10.0]

NOTE JamVOXモニターに接続したオプションのコルグEXP-2フット・コントローラーに“MANUAL”をアサインすると、非常にユニークな効果が得られます（ JamVOX取扱説明書 p.32「オプション・ペダル/スイッチの設定」）。

D. ノイズ・リダクション

ノイズ・リダクションは、演奏していないときのノイズを抑えます。

1. NOISE REDUCTION



SEN

[OFF, 0.2... 10.0]

値を大きくするほど、ノイズを抑える効果が強くなります。

通常は、弦を軽くミュートしたときにノイズが気にならない程度に調整します。

接続するギターによっては、値が大きすぎると音が途切れることがあります。そのときは値を下げてください。

E. モジュレーション・エフェクト

モジュレーション系のエフェクトです。12種類のモジュレーション・エフェクトから1つを選び設定します。

 が付いたパラメーターは、JamVOXモニターに接続したオプションのコルグEXP-2フット・コントローラーでコントロールが可能です。

 が付いたパラメーターは、JamVOXモニターに接続したオプションのVOX VFS-2フット・スイッチでコントロールが可能です。

フット・コントローラーとフット・スイッチへのパラメーターのアサインの方法は、JamVOX取扱説明書の「オプション・ペダル/スイッチの設定」(p.32)を参照してください。

1. CLASSIC CHORUS

Mono In/Mono Out 1 (MODE=1,3), Mono In/Mono Out 3 (MODE=2)

コーラスとビブラートの2つのモードを持ち、ギター・アンプに内蔵されていることで最も有名なコーラス・エフェクトのモデリングです。コーラスとビブラートの切り替えはできませんが、SPEEDとDEPTHの2つのパラメーターで、どちらのサウンドも作り出すことができ、実物よりも多彩な音色調整が可能です。エフェクト音だけを出力することも可能です。



SPEED

モジュレーション・スピードを調整します。

[0.100...10.00 Hz]

DEPTH

モジュレーションの深さを調整します。

[0.0...10.0]

MANUAL

スイープの中心周波数を調整します。

“DEPTH”を10.0にすると、このパラメーターは無効になります。

[1.0...10.0]

MODE

出力の方法を選択します。

[1, 2, 3]

1: モノラル出力。

2: ステレオ・モード。エフェクト音が右チャンネル、ダイレクト音が左チャンネルから出力されます。

3: ビブラート・モード。エフェクト音のみ出力されます。“MANUAL”を10.0にすると、発音の遅れが最小になります。

2. MULTI TAP CHORUS

Stereo In/Stereo Out 1

レフト/センター/ライトにそれぞれ独立したコーラス・タップを持ち、深く広がりのあるコーラスです。



SPEED

モジュレーション・スピードを調整します。

[0.100...10.00 Hz]

DEPTH

モジュレーションの深さを調整します。

[0.0...10.0]

TIME

ディレイ・タイムを調整します。

[0.0...10.0]

MIX

エフェクト音のミックス量を調整します。

[0.0...10.0]

3. STEREO CHORUS

Mono In/Stereo Out 1

黄色い箱に入った、ステレオ・コーラスのモデリングです。右側出力でエフェクト音を逆相にすることでステレオ感を出し、CLASSIC CHORUSのステレオ感とは一風違った広がりがります。



SPEED

[0.100...10.00 Hz]

モジュレーション・スピードを調整します。

DEPTH

[0.0...10.0]

モジュレーションの深さを調整します。

MANUAL

[1.0...10.0]

スイープの中心周波数を調整します。

“DEPTH”を10.0にすると、このパラメーターは無効になります。

MIX

[0.0...10.0]

エフェクト音のミックス量を調整します。

4. BI CHORUS

Mono In/Mono Out 1 (Mode=S), Stereo In/Stereo Out 1 (Mode=PARA1, PARA2, PARA3)

VOX独自のコーラスです。2基のコーラスを内蔵し、接続をシリアル/パラレルに替えるだけでなく、2つのLFOの同期/非同期も設定できます。素晴らしく広がりのあるサウンドから、複雑なモジュレーションがかかったフランジャー効果まで幅広い音色を作り出します。



SPEED1

[0.100...10.00 Hz]

コーラス1のモジュレーション・スピードを調整します。

DEPTH

[0.0...10.0]

コーラス1と2のモジュレーションの深さを調整します。

RESONANCE

[0.0...10.0]

コーラス1と2のレゾナンスの量を調整します。

SPEED2

[0.100...10.00 Hz]

コーラス2のモジュレーション・スピードを調整します。

“MODE”をPARA2またはPARA3にすると、このパラメーターは無効になります。

MODE

[SERIAL, PARA1, PARA2, PARA3]

コーラス1と2の接続とLFOを設定します。

SERIAL: コーラス1と2をシリアルに接続します。

PARA1: コーラス1と2をパラレル動作させるステレオ・モードです。

PARA2: コーラス1と2をパラレル動作させ、それぞれのLFOを同期させるステレオ・モードです。

PARA3: コーラス1と2をパラレル動作させ、それぞれのLFOを反転同期させるステレオ・モードです。

NOTE “MODE”がPARA2またはPARA3のときは、“SPEED1”でモジュレーション・スピードを調整します。

MIX

[0.0...10.0]

エフェクト音のミックス量を調整します。

5. CLASSIC FLANGER

Mono In/Mono Out 1

「両手タッピングのゴッドファーザー」と多くの人が崇める現代の有名ギタリストを生んだ、真にクラシックなアナログ・フランジャーのモデリングです。



SPEED

[0.100...10.00 Hz]

モジュレーション・スピードを調整します。

DEPTH

[0.0...10.0]

モジュレーションの深さを調整します。

RESONANCE

[0.0...10.0]

レゾナンスの量を調整します。

MANUAL

[1.0...10.0]

スイープの中心周波数を調整します。

“DEPTH” を 10.0 にすると、このパラメーターは無効になります。

OFFSET

[0.0...10.0]

LFOのスタート位置を設定します。バイパスを解除したときにも、ここで設定した位置からLFOがスタートします。

MIX

[0.0...10.0]

エフェクト音のミックス量を調整します。

LFO TRIGGER

スイッチをクリックするたびに、“OFFSET” で設定された位置にLFOがリセットします。

NOTE JamVOXモニターに接続したオプションのVOX VFS-2フット・スイッチに“FLANGER (LFO TRIGGER)”をアサインすると、フット・スイッチでLFOのリセットをコントロールできます (☞ JamVOX取扱説明書 p.32 「オプション・ペダル/スイッチの設定」)。

6. DUO PHASE

Mono In/Mono Out 2 (Mode=S1, S2), Stereo In/Stereo Out 2 (Mode=P1, P2, P3)

2つの6段フェイザーを内蔵した素晴らしいフェイザーです。接続をシリアル(擬似12段フェイザー)/パラレルに替えられるだけでなく、2つのLFOの同期/非同期も設定できます。



SPEED1

[0.100...10.00 Hz]

フェイザー 1 のモジュレーション・スピードを調整します。

DEPTH

[0.0...10.0]

フェイザー 1 と 2 のモジュレーションの深さを調整します。

RESONANCE

[0.0...10.0]

フェイザー 1 と 2 のレゾナンスの量を調整します。

SPEED2

[0.100...10.00 Hz]

フェイザー 2 のモジュレーション・スピードを調整します。

“MODE” を **SERIAL2**、**PARA2** または **PARA3** にすると、このパラメーターは無効になります。

MODE

[**SERIAL1**, **SERIAL2**, **PARA1**, **PARA2**, **PARA3**]

フェイザー 1 と 2 の接続や LFO を設定します。

SERIAL1: フェイザー 1 と 2 をシリアル接続します。

SERIAL2: フェイザー 1 と 2 をシリアル接続し、それぞれの LFO を同期させる、擬似 12 段フェイザー・モードです。

PARA1: フェイザー 1 と 2 をパラレル動作させるステレオ・モードです。

PARA2: フェイザー 1 と 2 をパラレル動作させ、それぞれの LFO を同期させるステレオ・モードです。

PARA3: フェイザー 1 と 2 をパラレル動作させ、それぞれの LFO を反転で同期させるステレオ・モードです。

NOTE “MODE” が **SERIAL2**、**PARA2** または **PARA3** のときは、“SPEED1” でモジュレーション・スピードを調整します。

7. FILTRON

Stereo In/Stereo Out 2

ギターの入力に応じてフィルターの開き具合が変わる、エンベロープ・コントロールド・フィルター（ワウ）です。

**ATTACK**

反応の速さを調整します。

[1.0...10.0]

DEPTH

効果の深さを調整します。

[0.0...10.0]

RESONANCE

レゾナンスの量を調整します。

[0.0...10.0]

MANUAL

カットオフ周波数を設定します。

“DEPTH” を 10.0 にすると、このパラメーターは無効になります。

[1.0...10.0]

POLARITY

動作方向を調整します。

[UP, DOWN]

SENS

ギターの音量に対する動作感度を調整します。

[0.0...10.0]

NOTE “DEPTH” を 0.0 にして、JamVOX モニターに接続したオプションのコルグ EXP-2 フット・コントローラーに “MANUAL” をアサインすると、コルグ TRAVELER ペダルを再現できます (☞ JamVOX 取扱説明書 p.32 「オプション・ペダル/スイッチの設定」)。

8. PITCH SHIFTER

Mono In/Mono Out 1

高級ラックマウント・タイプのシグナル・プロセッサに匹敵する、上下2オクターブの範囲で設定可能なピッチ・シフターです。



PITCH

[-24...+24]

ピッチを100セント(半音)単位で調整します。

FINE

[-50...+50]

ピッチを1セント単位で調整します。

TRACKING

[10...150 ms]

ピッチ・シフターのトラッキング(追従性能)を調整します。“PITCH”が0に近いときは短く、±24に近いときは長めに設定するのが効果的です。ピッチシフト音の音色を確認しながら、弾き難くならない程度に調整してください。

DIRECT

[0.0...10.0]

ダイレクト音の音量レベルを調整します。

EFFECT

[0.0...10.0]

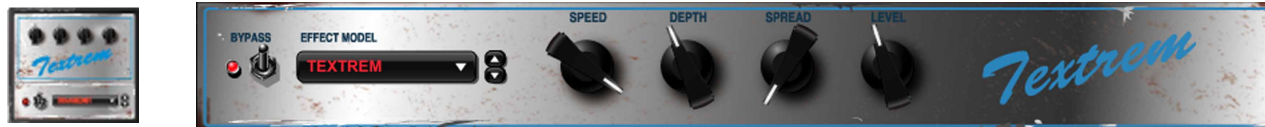
エフェクト音の音量レベルを調整します。

NOTE JamVOXモニターに接続したオプションのコルグEXP-2フット・コントローラーに“PITCH”をアサインすると、フット・コントローラーでピッチをコントロールすることができます (☞JamVOX取扱説明書 p.32 「オプション・ペダル/スイッチの設定」)。

9. TEXTREM

Stereo In/Stereo Out 2

BLACK2×12に搭載されている評判の高いトレモロ回路のモデリングです。“SPREAD”の設定によって左右に広がるパンニング効果も得られます。



SPEED

[1.00...10.00 Hz]

トレモロのスピードを調整します。

DEPTH

[0.0...10.0]

トレモロの深さを調整します。

SPREAD

[0.0...10.0]

左右の広がり感を調整します。

LEVEL

[1.0...10.0]

出力レベルを補正します。

10. ROTARY

Mono In/Stereo Out 2

ステレオ出力のロータリー・スピーカーのモデリングです。スピードを切り替えると、実際のロータリー・スピーカーのように一定時間後に設定したスピードに到達します。これは、スピーカーを回転させるモーターの速度が切り替わるのに数秒かかることを再現しているからです。



SPEED1

[0.80...10.0 Hz]

スピーカーの回転スピードを調整します。

DEPTH

[0.0...10.00]

モジュレーションの深さを調整します。

SPEED2

[0.80...10.0 Hz]

スピーカーの回転スピードを調整します。

ACCEL

[1.0...10.0]

回転スピードの変化にかかる時間を調整します。値を上げるほど、変化に時間がかかります。

SPEED SW

[SPEED1, SPEED2]

スピーカーの回転スピード(“SPEED1”と“SPEED2”)を切り替えます。

NOTE JamVOXモニターに接続したオプションのVOX VFS-2フット・スイッチに“ROTARY (SPEED-SW)”をアサインすると、フット・スイッチで“SPEED1”と“SPEED2”の切り替えをコントロールすることができます(☞JamVOX取扱説明書 p.32「オプション・ペダル/スイッチの設定」)。

11. MOD DELAY

Mono In/Mono Out 1 (Mode=1), Mono In/Mono Out 3 (Mode=2), Mono In/Stereo Out 1 (Mode=3)

ディレイ音にビブラート効果をかけることができるアナログ・ディレイのモデリングです。オリジナル・モデルのディレイ・タイムは400msまでですが、暖かい音色を壊さずに1400msまで設定できます。ディレイ・セクションのサブ・ディレイとしても使用可能です。



SPEED

[0.100...10.00 Hz]

モジュレーション・スピードを調整します。

DEPTH

[0.0...10.0]

モジュレーションの深さを調整します。

FEEDBACK

[0.0...10.0]

フィードバック量を調整します。

TIME

[1.0...10.0]

ディレイ・タイムを設定します。

MODE

[1, 2, 3]

出力の方法を選択します。

1: モノラル出力で出力されます。

2: ステレオ・モード1。エフェクト音が右チャンネル、ダイレクト音が左チャンネルから出力されます。

3: ステレオ・モード2。ダイレクト音+エフェクト音が左チャンネルから、ダイレクト音-エフェクト音が右チャンネルから出力されます。

MIX

[0.0...10.0]

エフェクト音のミックス量を調整します。

12. TALK MOD

Mono In/Mono Out 2

ギターの入力に応じて「声」の具合が変わる、エンベロープ・コントロールド・トーキング・モジュレーターです。

**ATTACK**

反応の速さを調整します。

[1.0...10.0]

DEPTH

効果の深さを調整します。

[0.0...10.0]

TYPE

変化する母音を設定します。

[A-E...O-U]

MANUAL

声質を調整します。

[0.0...10.0]

“DEPTH” を 10.0 にすると、このパラメーターは無効になります。

POLARITY

動作方向を調整します。

[UP, DOWN]

SENS

ギターの音量に対する動作感度を調整します。

[0.0...10.0]

NOTE “DEPTH” を 0.0 にして、JamVOX モニターに接続したオプションのコルグ EXP-2 フット・コントローラーに “MANUAL” をアサインすると、フット・コントローラーで母音のコントロールが可能です (☞ JamVOX 取扱説明書 p.32 「オプション・ペダル/スイッチの設定」)。

F. デレイ・エフェクト

デレイ系のエフェクトを設定します。11種類のデレイ・エフェクトから1つを選び設定します。

 が付いたパラメーターは、JamVOXモニターに接続したオプションのコルグEXP-2フット・コントローラーでコントロールが可能です。

 が付いたパラメーターは、JamVOXモニターに接続したオプションのVOX VFS-2フット・スイッチでコントロールが可能です。

フット・コントローラーとフット・スイッチへのパラメーターのアサインの方法は、JamVOX取扱説明書の「オプション・ペダル/スイッチの設定」(p.32)を参照してください。

1. STEREO DELAY

Stereo In/Stereo Out 1

コルグの24ビット・デジタル・デレイ DL8000Rのモデリングです。サンプリング周波数とデレイ・タイムのワープ・コントロールを除くと、ほぼ同一の回路です。

ステレオ・イン、ステレオ・アウトのエフェクトなので、ステレオ出力のMODエフェクトやREVERBエフェクトなどのステレオ出力のエフェクトの後に配置すると更に効果的です。



TIME

[1...4000 ms]

デレイ・タイムを設定します。

FEEDBACK

[0.0...10.0]

フィードバック量を調整します。

TONE

[1.0...10.0]

デレイ音の音色を調整します。

DUCKING

[0.0...10.0]

ギターの音量に対するダッキングの感度を調整します。

「ダッキング」とは、ピッキングの強さによってデレイ音の音量を自動的に下げて、フレーズを際立たせる効果です。

MIX

[0.0...10.0]

デレイ音のミックス量を調整します。

2. CROSS DELAY

Stereo In/Stereo Out 3

コルグの24ビット・デジタル・ディレイ DL8000Rのモデリングです。L→R、R→Lのクロスフィードバックをシミュレートしています。



TIME

ディレイ・タイムを設定します。

[1...4000 ms]

FEEDBACK

フィードバック量を調整します。

[0.0...10.0]

TONE

ディレイ音の音色を調整します。

[1.0...10.0]

DUCKING

ギターの音量に対するダッキングの感度を調整します。

[0.0...10.0]

MIX

ディレイ音のミックス量を調整します。

[0.0...10.0]

3. 2 TAP DELAY

Mono In/Stereo Out 1

コルグの24ビット・デジタル・ディレイ DL8000Rのモデリングです。ディレイ・タイムをずらした2タップのディレイを左右のチャンネルに振り分けて、モノラル入力をステレオで出力します。



TIME

ディレイ・タイムを設定します。

[1...4000 ms]

FEEDBACK

フィードバック量を調整します。

[0.0...10.0]

TONE

ディレイ音の音色を調整します。

[1.0...10.0]

DUCKING

ギターの音量に対するダッキングの感度を調整します。

[0.0...10.0]

TAP TIME

L側のディレイ・タイムに対するR側のディレイ・タイムの割合を設定します。

[0.0...10.0]

MIX

ディレイ音のミックス量を調整します。

[0.0...10.0]

4. RHYTHM DELAY

Mono In/Mono Out 1

コルグの24ビット・デジタル・ディレイ DL8000Rのモデリングです。2タップ・ディレイを“RHYTHM”で設定した音符分のディレイ・タイムに自動設定します。



TIME

ディレイ・タイムを設定します。

[1...4000 ms]

FEEDBACK

フィードバック量を調整します。

[0.0...10.0]

TONE

ディレイ音の音色を調整します。

[1.0...10.0]

DUCKING

ギターの音量に対するダッキングの感度を調整します。

[0.0...10.0]

RHYTHM

ディレイ・タイムを四分音符としたときの、2タップのリズム・ディレイを設定します。設定によっては1タップになります。

[1...11]

MIX

ディレイ音のミックス量を調整します。

[0.0...10.0]

5. HOLD DELAY

Mono In/Mono Out 1

コルグの24ビット・デジタル・ディレイ DL8000Rをホールド・ディレイに設定したモデリングです。

**TIME**

ディレイ・タイムを設定します。

[1...8000 ms]

FEEDBACK

フィードバック量を調整します。

[0.0...10.0]

TONE

ディレイ音の音色を調整します。

[1.0...10.0]

MIX

ディレイ音のミックス量を調整します。

[0.0...10.0]

HOLD SW

オンにすると、ディレイ音がホールドされます。

[OFF, ON]

NOTE ディレイ・エフェクトにHOLD DELAYを選択すると、JamVOXモニターに接続したオプションのVOX VFS-2フット・スイッチにHOLD DELAY (HOLD)が自動的にアサインされます。フット・スイッチを踏むとディレイ音がホールドされます。

6. REVERSE DELAY

Mono In/Mono Out 1

ディレイ音が逆再生されるデジタル・ディレイです。音符を長く伸ばしたレガート奏法で、非常に気持ちの良い効果を得ることができます。



TIME

[26...8000 ms]

ディレイ・タイムを設定します。

FEEDBACK

[0.0...10.0]

フィードバック量を調整します。

TONE

[1.0...10.0]

ディレイ音の音色を調整します。

MIX

[0.0...10.0]

ディレイ音とダイレクト音のミックス・バランス量を調整します。

7. MOD DELAY

Mono In/Mono Out 1

コルグの初期のデジタル・ディレイSDD-3000のモデリングです。ディレイ・タイムを短くし、LFOでモジュレーションをかけると、コーラスやフランジャー効果を得ることができます。

**TIME**

[3...2000 ms]

ディレイ・タイムを設定します。

FEEDBACK

[0.0...10.0]

フィードバック量を調整します。

TONE

[1.0...10.0]

ディレイ音の音色を調整します。

SPEED

[0.100...10.00 Hz]

モジュレーション・スピードを調整します。

MIX

[0.0...10.0]

ディレイ音のミックス量を調整します。

8. SWEEP DELAY

Mono In/Mono Out 1

コルグ・デジタル・ディレイSDD-3000のモデリングです。ギターのエンベロープでディレイ・タイムをコントロールすることができます。

ディレイ・タイムを最小にし、フィードバックを上げると、独特のフランジャー効果が得られます。また、普通にディレイ・エフェクトとして使用しても、LFOでは得られない独特のモジュレーション効果が得られます。



TIME

ディレイ・タイムを設定します。

[26...2000 ms]

FEEDBACK

フィードバック量を調整します。

[0.0...10.0]

TONE

ディレイ音の音色を調整します。

[1.0...10.0]

SENS

ギターの音量に対する動作感度を調整します。

[0.0...10.0]

MIX

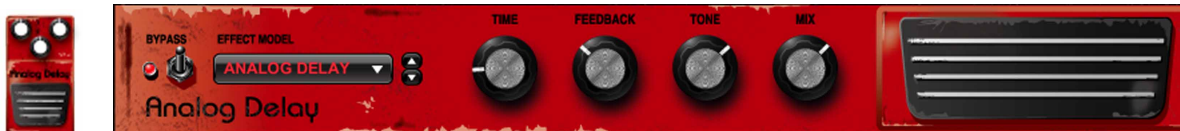
ディレイ音のミックス量を調整します。

[0.0...10.0]

9. ANALOG DELAY

Mono In/Mono Out 1

テープ・エコーに代わり、バケット・ブリッジ・デバイス(BBD)を使用した小型で信頼性のあるディレイ・マシンのモデリングです。暖かく歪んだ音が特徴です。



TIME

ディレイ・タイムを設定します。

[1...2000 ms]

FEEDBACK

フィードバック量を調整します。

[0.0...10.0]

TONE

ディレイ音の音色を調整します。

[1.0...10.0]

MIX

ディレイ音のミックス量を調整します。

[0.0...10.0]

10. MULTI HEAD

Mono In/Mono Out 1

3ヘッドのテープ・エコーのモデリングです。各ヘッドから生じるそれぞれのエコーにはフィードバック・ループがあり、複雑で温かい「マルチ・タップ」エコー効果が得られます。

**TIME**

[1...2000 ms]

ディレイ・タイムを設定します。

FEEDBACK

[0.0...10.0]

フィードバック量を調整します。

TONE

[1.0...10.0]

ディレイ音の音色を調整します。

MODE

[1, 2, 3, 4, 5]

使用するヘッドの組み合わせを設定します。

1: 通常のエコー。

2:  「タ・タ・タ・ッ」というリズムでディレイ音を再生。

3:  「タ・ッ・タ・タ」というリズムでディレイ音を再生。

4:  「タ・タ・ッ・タ」というリズムでディレイ音を再生。

5:  「タ・タ・タ・タ」というリズムでディレイ音を再生。

MIX

[0.0...10.0]

ディレイ音のミックス量を調整します。

11. ECHO PLUS

Mono In/Mono Out 1

最も評判の高いアナログ・テープ・エコーのモデリングです。もともとエコーは再生ヘッドで作られ、ディレイ・タイムはモーターのスピードを変化させて設定します。プロ・ミュージシャンが、この「原始的な」テープ・エコーを好むのは、温かく暗いエコーの音色が得られるからです。



TIME

ディレイ・タイムを設定します。

[26...2000 ms]

FEEDBACK

フィードバック量を調整します。

[0.0...10.0]

TONE

ディレイ音の音色を調整します。

[1.0...10.0]

LO DAMP

低域の減衰量を調整します。

[0.0...10.0]

MIX

ディレイ音のミックス量を調整します。

[0.0...10.0]

G. リバーブ・エフェクト

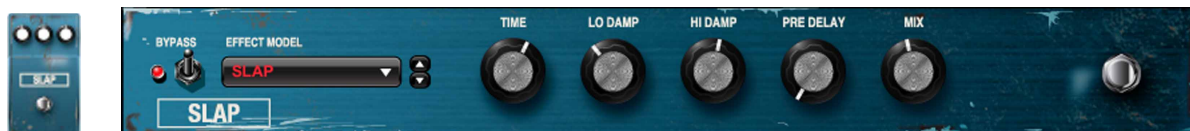
リバーブ系のエフェクトを設定します。15種類のリバーブ・エフェクトから選び設定します。

📖 が付いたパラメーターは、JamVOXモニターに接続したオプションのコルグEXP-2フット・コントローラーでコントロールが可能です。フット・コントローラーへのパラメーターのアサインの方法は、JamVOX取扱説明書の「オプション・ペダル/スイッチの設定」(p.32)を参照してください。

1. SLAP

Mono In/Stereo Out 1

残響の短い、非常に小さな空間をシミュレートしたリバーブです。



TIME 📖

リバーブの持続時間を設定します。

[1.0...10.0]

LO DAMP 📖

低域の減衰量を調整します。

[0.0...10.0]

HI DAMP 📖

高域の減衰量を調整します。

[0.0...10.0]

PRE DELAY

残響が始まるまでのディレイ・タイムを設定します。設定によっては原音の輪郭を浮き上がらせることができます。

[0...100 ms]

MIX 📖

リバーブ音のミックス量を調整します。

[0.0...10.0]

2. GATE

Mono In/Stereo Out 1

使い勝手の良いゲート・リバーブです。パーカッシブなプレイに最適です。



TIME

[5...500 ms]

ゲートの持続時間を設定します。

LO DAMP

[0.0...10.0]

低域の減衰量を調整します。

HI DAMP

[0.0...10.0]

高域の減衰量を調整します。

PRE DELAY

[0...100 ms]

残響が始まるまでのディレイ・タイムを設定します。

SHAPE

[1,2]

ゲートの形状を設定します。

1: 通常のゲート。

2: 逆再生風のゲート。“MIX”を10.0(リバーブ音のみ)にすると、逆再生風の残響になります。

MIX

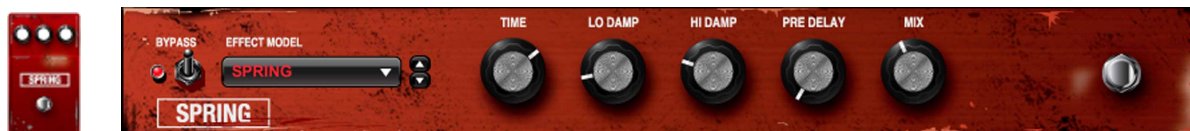
[0.0...10.0]

リバーブ音のミックス量を調整します。

3. SPRING

Mono In/Stereo Out 1

ギター・アンプに搭載されているスプリング・リバーブのモデリングです。サーフ・ミュージックに最適です。
パラメーターの内容は、SLAPと同じです。(※p.48「1. SLAP」)



4. BOUNCE

Mono In/Stereo Out 1

より密度の濃い残響をもつスプリング・リバーブのモデリングです。
パラメーターの内容は、SLAPと同じです。(※p.48「1. SLAP」)



5. PLATE

Mono In/Stereo Out 1

スプリングの代わりに鉄板を振動させるプレート・リバーブのモデリングです。短めの残響に調整しています。立ち上がりの早い残響はパーカッシブなプレイに適します。
パラメーターの内容は、SLAPと同じです。(※p.48「1. SLAP」)



6. GARAGE

Mono In/Stereo Out 1

密度の濃い残響が得られるガレージ風リバーブです。

パラメーターの内容は、SLAPと同じです。(※p.48「1. SLAP」)



7. CHAMBER

Mono In/Stereo Out 1

エコー・チャンバーのモデリングです。かつてレコーディング・スタジオでは、残響を得るために特別に設計した部屋(エコー・チャンバー)にスピーカーとマイクを設置して残響を録音していました。このモデルでは、落ち着いたサウンドのエコー・チャンバーを再現しています。

パラメーターの内容は、SLAPと同じです。(※p.48「1. SLAP」)



8. CANYON

Mono In/Stereo Out 1

渓谷のような響きを持つリバーブです。

パラメーターの内容は、SLAPと同じです。(※p.48「1. SLAP」)



9. ROOM

Mono In/Stereo Out 1

初期反射音を多く含む、一般的な部屋の残響をシミュレートしたリバーブです。
パラメーターの内容は、SLAPと同じです。(p.48「1. SLAP」)



10. STUDIO

Mono In/Stereo Out 1

大きな部屋の残響をシミュレートしたリバーブです。
パラメーターの内容は、SLAPと同じです。(p.48「1. SLAP」)



11. HALL

Mono In/Stereo Out 1

エコー成分を多く含むコンサート・ホールの残響をシミュレートしたリバーブです。
パラメーターの内容は、SLAPと同じです。(p.48「1. SLAP」)



12. ARENA

Mono In/Stereo Out 1

スムーズで密度の濃い残響を持つコンサート・ホールをシミュレートしたリバーブです。
パラメーターの内容は、SLAPと同じです。(※p.48「1. SLAP」)



13. HD-ROOM

Mono in/Stereo out 1

一般的な部屋の響きを忠実に再現した高品位なリバーブです。パラメーターの設定によって多種多様な部屋鳴りを再現できます。



PRE LPF

[0.0...10.0]

入力音の音質を調整します。

PRE DELAY

[0...1360 ms]

残響が始まるまでのディレイ・タイムを設定します。

TIME

[0.0...10.0]

リバーブの持続時間を設定します。

HI DAMP

[0.0...10.0]

高域の減衰量を調整します。

LO GAIN

[-12.0...6.0 dB]

低域のゲインを調整します。

MIX

[0.0...10.0]

リバーブ音のミックス量を調整します。

14. HD-CHAMBER

Mono in/Stereo out 1

残響を得るために特別に設計された反響室（チェンバー・ルーム）をシミュレートした高品位なリバーブです。通常の部屋の自然な鳴りだけでなく、残響成分を意図的にコントロールしたオリジナルのリバーブに設定することもできます。パラメーターの内容は、HD-ROOMと同じです。（※54ページ「HD-ROOM」）



15. HD-HALL

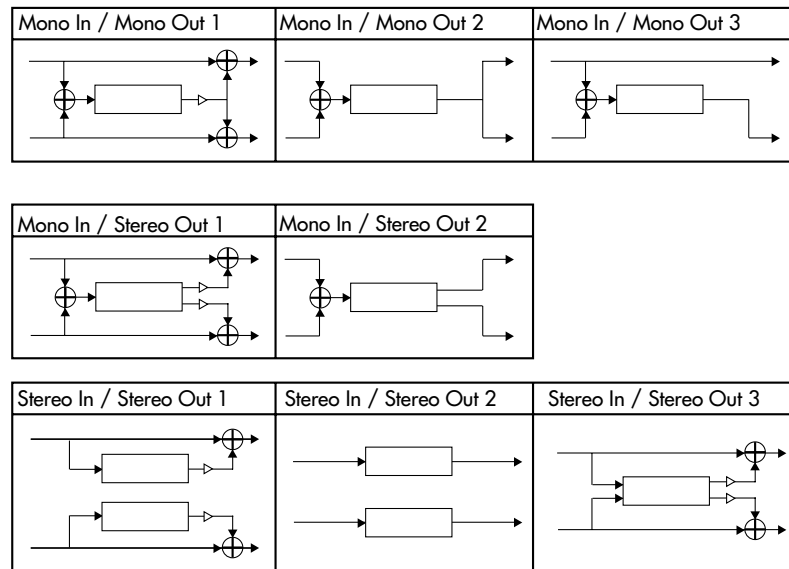
Mono in/Stereo out 1

コンサート・ホールの特徴である初期反射から残響成分の拡がりまでを忠実に再現した高品位なリバーブです。コンサート・ホールで演奏しているようなリバーブ感を得ることができます。パラメーターの内容は、HD-ROOMと同じです。（※54ページ「HD-ROOM」）



Block Diagram

モジュレーション、ディレイ、リバーブ・エフェクトでは、信号の入出力が右のブロック図のいずれかになっています。各エフェクトが、どのブロック図になっているかは、エフェクト・モデル名の右側に記載されています。





VOX AMPLIFICATION LTD. 9 Newmarket Court, Kingston, Milton Keynes, MK10 OAU, UK <http://www.voxamps.com/>